

第4回 LP の河川定期縦横断測量への適用検討会

日 時 : 平成 30 年 6 月 21 日(木) 10:00~12:00

場 所 : 中央合同庁舎第3号館1階 共用会議室

<議事要旨>

- 河川管理に必要な業務を網羅し、その中から、3次元地形データを活用することで実施可能となるものを抽出することが必要である。
- 河川管理を全て3次元地形データで管理すべきか検討する必要がある。
- 過去に計測した LP データの活用、3次元地形データの管理手法等も検討が必要である。
- ICT 土工との連携も検討が必要である。
- 道路分野では i-Construction をうまく活用して3次元地形データを作成している。河川も道路分野の取り組みを参考にすべき。
- 危機管理対策の一環として、橋脚部における河床洗掘の状況把握、堤内地の状況把握、軟弱地盤箇所における対応なども検討する必要がある。
- 3次元地形データ活用可能性をとりまとめる際は、点群密度に加えて精度についてどう記載するか検討すべき。
- 今まで使用していた定期縦横断測量成果と3次元地形データを、今後どのように組み合わせる用いることができるか検討する必要がある。
- 3次元地形データは作成までに長時間を要することが課題だが、災害時の速報資料として活用できれば河川管理の幅が広がる。ノイズ処理やフィルタリング時における AI の活用など、データ処理の迅速化を図るための技術開発も必要である。

以上